

さいたま市インフルエンザ週報(速報)

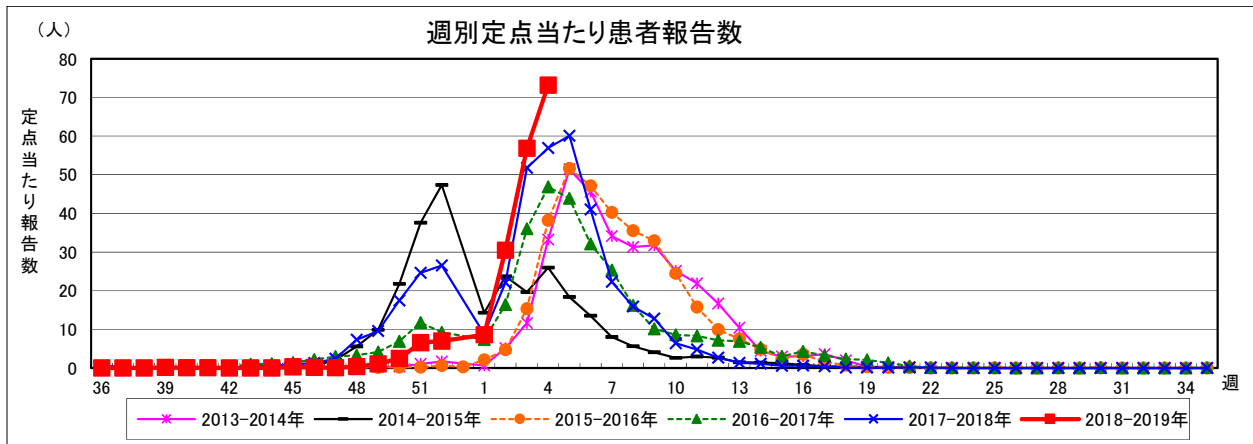
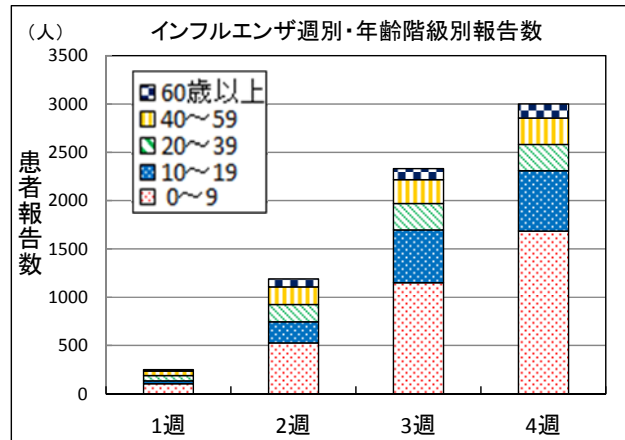
2018-2019 年シーズン 第 4 週(1 月 21 日～1 月 27 日)

1 市内のインフルエンザ患者報告状況

定点医療機関(小児科 27 所、内科 14 ヶ所)からの患者報告数は 3,000 人、定点当たり報告数は先週の 56.88 人から 73.17 人と更に大きく増加しました。先週に引き続き流行警報開始基準値(定点当たり 30 人)を超え、2006 年以降で最も多い報告数となり、市内では大きな流行が継続しているとみられ、注意が必要です。

基幹定点医療機関(1 ヶ所)からインフルエンザによる入院患者の報告が 7 人(A型)ありました。

埼玉県内の定点当たり報告数は 84.09 人です。



2 インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等

第 4 週は、学級閉鎖 207 学級(68 校)、学年閉鎖 4 学年(4 校)の報告がありました。

区別の報告状況(2019年第4週)

	西区	北区	大宮区	見沼区	中央区	桜区	浦和区	南区	緑区	岩槻区
学級閉鎖(学校数)	5	9	5	4	6	6	10	14	5	4
学年閉鎖(学校数)	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1

3 市内病原体定点等からのインフルエンザ検体ウイルス検出状況

インフルエンザ検体のウイルス検出状況(2019年第4週)

検体採取週	検体数 (患者数)	陽性数 (患者数)	インフルエンザウイルス			
			AH1 pdm09	A香港	B山形 系統	Bビクト リア系統
18年第36週 ～18年第52週	11	11	6	4	0	1
2019年第1週	1	1	0	1	0	0
第2週	5	5	1	3	0	1
第3週	10	10	3	7	0	0
第4週	1	1	1	0	0	0
合計	28	28	11	15	0	2

※病原体定点の先生方には、引き続き検体採取のご協力をお願いします。

市内で直近の 4 週間(第 1 週～第 4 週)に採取された 17 検体から、A香港型が 11 件、AH1pdm09 が 5 件、B 型ビクトリア系統が 1 件検出(PCR)されました。

国立感染症研究所ウイルス分離・検出速報(1 月 29 日作成版)によれば、第 52 週～第 3 週に全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 123 件(51.0%)、A香港型が 115 件(47.7%)、B 型が 3 件(1.2%)でした。

★「さいたま市インフルエンザ週報」は、原則として患者報告が定点当たり 1 人を超えた際に作成しています。

★平成 31 年 1 月 29 日 13 時現在の速報です。後日データの修正をすることがあります。